

CSR REPORT 2016 DIGEST

株式会社 北洋銀行 経営企画部
〒060-8661 札幌市中央区大通西3丁目7番地
電話 011-261-1311 (代表)

 くわしくは <http://www.hokuyobank.co.jp/about/csr/>



北洋銀行のCSR 2016ダイジェスト版

環境・社会・経営Q&Aレポート

北海道の持続的な発展に
貢献するために。



Contents

- 会長メッセージ P 1
- 店舗サービスについて P 3
- エコ・環境の取り組み P 6
- 地域に貢献 P 9
- 教育文化の向上に P 10
- 働きやすい組織に P 11
- CSRの歩み P 13

私たちが考えるCSRとは

CSRとは、Corporate (企業) Social (社会的) Responsibility (責任) の頭文字三文字からとったものです。

札幌北洋グループ経営理念

お取引先に良質なサービスを提供し、お客さまと共に発展する。
企業価値の増大を図り、株主と市場から高い信認を得る。
職員がその能力を十分に発揮できる働きがいのある職場をつくる。

北洋銀行経営理念

北海道の洋々たる発展の礎となる銀行

札幌北洋グループにとっての企業の社会的責任

私たち札幌北洋グループの将来と地域の未来に寄与するため、「環境保全」「医療福祉」「教育文化」を重点取組テーマとしてご期待に応えるまちづくりをサポートしていきます。

報告対象の範囲と期間

特に記載のない限り、株式会社北洋銀行、株式会社札幌北洋リース、株式会社札幌北洋カード、ノースパシフィック株式会社、北洋ビジネスサービス株式会社の5社を対象としています。また、対象期間は、特に記載のない限り、平成28年3月までの取り組み内容を記載しています。

皆さまには、日頃より北洋銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

当行は「北海道の洋々たる発展の礎となる銀行」を経営理念に掲げ、北海道とともに発展していくことを目指しております。CSR(企業の社会的責任)への取り組みにおいても「全てのステークホルダーの持続的な発展に資する行動を全行で実践」することを基本方針としています。

北海道は豊かな自然に恵まれた、かけがえのない地元です。この素晴らしい北海道を未来へ引継ぎ、健康な暮らしや次世代を担う子どもたちの育成に貢献すべく、「環境保全」「医療福祉」「教育文化」をCSRの重点取組テーマとし、中期経営計画【挑戦】においてもCSR経営の実践を基本方針の一つとして推し進めています。中でも平成22年に設立した北海道の生物多様性保全を目的とする「ほっくー基金」は、平成27年度札幌商工会議所CSR経営表彰(環境貢献部門)を受賞しており、その取り組み内容は高く評価いただいております。

本CSRレポートでは、店舗での取り組み、地域での取り組み、そして重点テーマである「環境保全」・「医療福祉」・「教育文化」への取り組みといった、当行のさまざまな取り組みをわかりやすくご紹介していますので、皆さまのご参考になれば幸いです。

当行は、これからも北海道の持続的な発展に貢献するために、CSRを着実に果たしてまいりますので、引き続きご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社 北洋銀行

取締役会長 **横内 龍三**





店舗の使いやすさと 犯罪防止の対策とは？

お客さまに優しい店舗づくり

「杖かけホルダー」「ATMタッチペン」の設置や車いす
配備店舗の拡大、店舗建て替え時のバリアフリー設計
等、安心・便利な店舗づくりに取り組んでいます。

「車いす配備店舗」・「車いすでのご来店が可能な店舗
(段差がなく、スムーズにご来店いただける店舗)」に
ついては、対応済みの店舗をホームページ上で確認い
ただくことができます。



ATMタッチペンの設置



振り込め詐欺防止の声かけ

平成27年中の北海道内の振り込め詐欺被害は275件
9億3千万円となっており、犯罪の手口も多様化して
おります。

こうした状況の中、当行では金融犯罪対応を行う専門
部署を設置し、被害の未然防止と被害にあわれた方の
救済に取り組んでいます。

詐欺被害はご高齢の方が多いため、ご高齢のお客さま
の振込みや高額の現金払戻しに対しては「声かけ」を行
い、詐欺の可能性について確認しています。また高額
の現金払戻しの場合は、安全性の高い自己宛小切手の
利用をおすすめしています。



金融犯罪防止セキュリティ対策

金融犯罪からお客さまをお守りし、インターネットバン
キングを安心してご利用いただくため、様々なセキュリ
ティ対策を行っています。

セキュリティツールの無償提供、取引結果のEメール通知
のほか、パスワード生成ソフト、生成機や電子証明書方式
の導入等のセキュリティ対策を実施しています。

また、不正利用の発生状況を踏まえた対処方法につ
いてDM・Eメール・ホームページ等で、適切にお客さ
まへお知らせし、金融犯罪の発生防止に取り組んでい
ます。



パスワード生成機「ハードトークン」



障がいのあるお客さま、 ご高齢のお客さまへの対応は どのようにしているの？

障がいのあるお客さま、ご高齢のお客さまへの対応

障がいがあるお客さまやご高齢のお客さまが利用しや
すい銀行をめざして、対応力向上・サービス体制の充実
など、さまざまな取り組みを行っています。

視覚障がいのお客さまには、窓口受付の振込手数料を
ATM利用振込手数料と同額に引き下げています。ま
た、音声案内対応ATMを全営業店に1台以上設置し、店
舗外ATMについても対応拡大を進めています。

耳の不自由なお客さまには、「耳マーク」、「コミュニケー
ションボード」、「筆談ボード」を全店に置いています。

新たに耳が遠いお客さま・聞こえづらいお客さま対応と
して、93カ店に助聴器を配備しました。現在、全営業店
の配備を順次進めており、平成28年度中に全店に配備
予定です。

更に、行員の資格取得を推進し、単なる介助技術だけ
ではなくコミュニケーションに重点を置いた資格「サービ
ス・ケア・アテンダント」認定者や「認知症サポーター」を営業店
に配置しています。



入出金・口座開設・
名義変更等希望す
る手続きを指し示す
ボード



耳が不自由であることを知らせて
いただき、必要なお手伝いを行うた
めのボード



助聴器

障がいのあるお客さま、ご高齢のお客さまへの対応力向上のための社内研修

障がいのあるお客さまやご高齢のお客さま等、あらゆる
お客さまの立場にたって同等のサービスを提供する
ための社内研修を年4回実施しています。「視覚障がい」
「聴覚障がい」「車いす利用者」「認知症」への理解を深
め、全職員が共通認識をもってサービスできるよう努
めています。平成28年度は「障害者差別解消法」施行
に伴い、法の趣旨および具体的対応の周知に努めてい
ます。



研修の様子

担当からの 一言



調査役
田森

「お客さまが満足されているか」を基準
にサービス品質向上を図っています。平
成28年度は「窓口をお客さまとのリレー
ションの場へ」をテーマに、金融サービ
ス業としてお客さまの期待に応える接

客スキルの向上に努め、お客さまが感
動していただける銀行を目指して全行
で取り組んでいます。



お客様の声にどのように応えているの？

お客様の声の収集と反映

お客様のご意見、ご要望を商品・サービスに活用するため、様々な形でお客様の声をお伺いしています。店頭窓口で承ったご意見・ご要望をはじめ、ホームページの「お客様の声ポスト」、店頭で配付・設置している「お客様の声カード」等で寄せられたお客様の声を一

元管理し、大切な情報として行内で共有しています。また、定期的に「お客様サービス向上分科会」を開催、CS向上策を議論し、お客様の声を活かす仕組みづくりと苦情の再発防止や商品・サービスの改善に役立っています。

お客様の声をお伺いする方法

- ホームページの「お客様の声ポスト」コーナー（常設）
- 店頭設置の「お客様の声カード」（常設）
- 各種フリーダイヤル等

お客様の声
を反映する
仕組み

お客様

北洋銀行

お客様の声を反映する体制

- お客様の声を一元管理すると共に、役員を含め情報を共有
- 「お客様サービス向上分科会」を定期的に開催し、改善策を検討・協議

商品・サービスの改善等に反映

- 振込訂正依頼書の書式をホームページからダウンロードしたい…
- 振込訂正・組戻依頼書をホームページからダウンロードいただけるようになりました！
-
- 北洋ダイレクトのトークンをカードやキーホルダー型の機械で利用できるようにしてほしい…
- キーホルダー大の小型端末、ハードトークンを導入いたしました！
お問合せ先 コンタクトセンター 0120-161-697
-
- 両替依頼票の記入方法がわかりづらい…
- 「ご持参現金」と「ご希望金額」が一つの票になっていてわかりづらいという意見をもとに、依頼票を改訂いたしました！
-
- 助聴器が店頭にあると便利…
- 店頭に助聴器を配備いたします。現在、順次配備を進めており、平成28年度中に全店に配備予定です。
※耳が遠いお客様・聞こえづらいお客様との対応時に利用します。

お客様の声を実現しました！

「お客様が感動する」サービスを目指して

お客様目線のサービスを実践するため、「Delight～お客様感動をめざして～」を全行統一テーマに掲げ、全職員が一丸となってより一層のステップアップを目指しています。営業店では、全店で「CS委員会」を立ち上げ、「お客さ

まが感動する」ために何ができるかを話し合い、サービス品質の向上を図っています。また、外部調査機関による覆面調査、職員による電話対応モニタリングを継続的に行うことで、金融サービス業に必要な接客スキルの向上に努めています。



環境に配慮した取り組みをしているかな？

きれいなまちづくりを目指します

ごみ拾い活動を実施しました

平成26年より、当行創立記念日である8月20日前後に店周及び近隣地域を対象とした「全行一斉ごみ拾い活動」を実施しています。平成27年は、延べ1,824名の役職員が参加しました。各営業店において、日々店周清掃は行っていますが、全行役職員一丸で行う機会を設けたことで、改めて「環境保全への意識を高める」きっかけになっています。



全行一斉ごみ拾い活動

店内照明のLED化

省エネ効果を上げるため、点灯時間が長いATMコーナー、店舗ロビー、事務室等を優先して、順次照明のLED化対応を進めています。設置場所・条件により差はありますが、業者の試算では60%程度の電力量削減効果があるとされており、導入した施設では実際に効果が認められています。



60%削減

省電力型ATM導入

当行では、平成26年より老朽化したATMの入れ替え機種として、日立製の省電力型新型ATMを採用しています。新型ATMは、入れ替え前のATMに比べ消費電力を最大50%低減しています。また、待機状態で更に消費電力を低減する「省エネモード」についても引き続き適用し、従来の機種より最大20%低減しています。今後も、年間120台のペースで省電力型新型ATMへの入れ替えを進め、ATMの消費電力の低減を進めていきます。



省電力型新型ATM

太陽光発電導入済みの支店

小樽中央支店には、店舗屋上に太陽光発電パネルを設置し、温室効果ガス削減に努めています。店内には太陽光発電パネルと連動したモニターを設置しており、現在の発電量が一目で分かるようになっているため、環境保全と節電への意識啓発にも繋がっています。



小樽中央支店



店内設置モニター



ほっくー基金ってなに？

ほっくー基金

北海道で生きるみんなのために

当行は、平成22年に北海道の生物多様性保全を目的とした「ほっくー基金」を設立しました。

設立以来、26先に助成を行い、今年度は更に平成27年度分として7先に贈呈しました。今後も、ほっくー基金選定協議会の助言のもと、希少動植物の保護に取り組む団体等を応援していきます。



平成27年度贈呈先

- エゾシカ食肉事業協同組合
- 大沼ラムサール協議会
- 認定NPO法人 カラカネイトンボを守る会～あいあい自然ネットワーク～
- 山歩集団 青い山脈
- 公益財団法人 知床財団
- 日本鳥学会
- 「人と海鳥と猫が共生する天売島」連絡協議会

設立以来、延べ33先 3,640万円を助成しました。

ほっくー定期預金

「ほっくー基金」の主な原資として「ほっくー定期預金」を全店でお取り扱いしています。お客さまにお預け入れたいただいた「ほっくー定期預金」3月末時点の残高の0.01%相当額と、満期案内不発行により削減できる郵送料相当額を、当行が「ほっくー基金」に拠出します。これにより、お客さまは間接的に「ほっくー基金」へ参加し、北海道の生物多様性保全に貢献いただくことができます。

期間1年の自動継続型定期預金で、預入金額は1,000円から、金利は店頭表示金利です。通帳は当預金専用で、「環境配慮型通帳」を採用しています。また、通帳の素材に、地球環境に配慮した紙クロスと植物由来成分のインキを使ってリサイクル適性を向上させたほか、塩化ビニールを用いない磁気テープの採用で廃棄適性も向上させています。

ほっくー基金 口座の設置

募金専用口座

北海道の生物多様性保全に、当行の役職員はもとよりお客さまに広くご参加いただき、道民一丸となって取り組めるよう「ほっくー基金」の専用寄付口座を設け、協力金形式の募金を受け付けています。

各営業店の窓口で、お振込手数料無料で受け付け、個人から法人のお客さままで広く皆さまのご協力を募っています。



ほっくー基金のしくみ



ビジネスを通じた環境保全への取り組みは？

環境配慮型企業向け私募債

北洋エコボンド

環境に配慮した取り組みを自主的・積極的に行っている企業に対して有利な私募債(北洋エコボンド)を発行し、環境配慮型企業をサポートしています。環境への取り組みは北海道、札幌市等の地方公共団体とも連携を強めていることから、主な対象企業を、北海道グリーンビズ認定制度・さっぽろエコメンバー登録制度の登録企業としています。平成22年4月の取り扱い開始以来、多くの環境配慮型企業の皆さまにご利用いただいています。

北洋エコボンド取扱状況(平成23年4月～平成28年3月)



環境成長分野を対象とした融資ファンド

飛翔NEO (はばたきネオ)

平成26年4月から成長分野に対して融資面でサポートする、ほくよう成長サポートファンド「飛翔NEO(はばたきネオ)」を取り扱っています。このファンドは、様々な種類の再生可能エネルギーの宝庫である北海道の地域性を考慮し、「環境エネルギー」分野等を中心に「農林水産」や「観光産業」等8分野を対象としています。また、成長分野の融資は返済期間が10年超となる場合が多いため、最大15年まで取り扱い可能としています。

名称	ほくよう成長サポートファンド「飛翔NEO(はばたきネオ)」
ファンド総額	800億円
貸出金額	1貸出あたり 500万円以上10億円以内
貸出期間	1年以上15年以内
返済方法	元金均等返済または元利均等返済
資金使途	以下の8成長分野に資する資金(運転資金・設備資金) ①医療介護事業 ②農林水産 ③環境エネルギー ④事業承継・M&A ⑤事業再編 ⑥社会インフラ ⑦観光産業 ⑧青函連携

(平成28年6月末現在)

環境ビジネスファンド

平成23年7月に、環境関連に特化した道内初の「環境ビジネス支援ファンド」を設立しました。これは、環境関連のビジネスを行うお取引先の株式を当行が引き受けることで、お取引先企業がより発展し、信用力が高まり、地域経済の活性化につながることを目指すファンドです。ファンド総額は3億円で、環境保全や再生エネルギー分野に取り組む道内中小企業を中心に、株式公開を目指していないお取引先も含め、幅広く対象としています。



担当からの一言



調査役 大窪

私募債とはお客さまが長期固定金利の資金調達を図るために発行し、それを限られた少数の投資家が引き受けるものです。従来の借入とは異なり、資本市場を通じた資金調達の第一歩となると共

に、発行企業の財務内容健全性を対外的にPRできるメリットを有します。市場開発部では、お取引店と共に一丸となって私募債発行が円滑に進むようお手伝いしていきます。



地域が発展するために何をしているの？

インフォメーションバザール

北洋銀行インフォメーションバザールは、昭和59年から“北海道の食品メーカー・生産者と食品バイヤーの出会いの場”として開催しています。札幌開催が20回を数えた後、お取引先企業の道外ニーズにお応えするため、平成17年度から首都圏での「インフォメーションバザール in Tokyo」、平成18年度からは関西圏での「インフォメーションバザール in Kansai」を開催し、道産食材・食品の国内販路拡大を支援しています。「インフォメーションバザール in Tokyo 2015」では、新たな試みとして、「地方創生」コーナーを新設し、道内自治体の取り組みをPRしました。鹿児島銀行との連携による「南の逸品商談会」の同時開催も8回を数え、北海道から160社・団体、南九州から77社・団体の皆さまにご出展いただき、2日間で約4,200名のバイヤーの皆さまがご来場され、活発な商談が行われました。



インフォメーションバザール in Tokyo

道内ものづくり産業展示型商談会

ものづくりテクノフェア

北洋銀行ものづくりテクノフェアは、平成19年から道内ものづくり産業の振興を目指し、展示型商談会として開催しています。優れた技術や製品の販路拡大を支援すると共に、出展者の商談ニーズを事前にお伺いし、来場者と専用ブースによる商談機会を提供してきました。開催9回目の「ものづくりテクノフェア 2015」は、新たに、札幌近郊の工業高校生を見学に招待し、道内ものづくり企業の優れた技術を紹介しました。当日は209社・団体のご出展と、約4,400名がご来場され、過去最大規模の開催となりました。



ものづくりテクノフェア 2015

北海道新幹線開業応援プロジェクト

北海道新幹線開業の一層の機運醸成を目的に、クリプトン・フューチャー・メディア株式会社と共同で「北海道新幹線開業応援ムービー」を制作、大通BISSE地下2階に大型モニターを設置し放映しました。応援ムービーには、北海道を応援するキャラクター「雪ミク」や函館市民・北斗市民の方々、当行職員が参加し、歌と踊りで北海道新幹線の開業を応援しました。



映像お披露目イベント

担当からの一言



調査役
赤淵

平成28年3月26日、北海道民の悲願であった北海道新幹線が開業しました。当行では開業を見据え、平成25年4月より青函産業振興室を設置し、北海道と青森の企業・団体のビジネスマッチングや、道南地域の自治体や観光協会などのプロモーションのサ

ポートをはじめ、青函圏の地域活性化に向けて様々な活動を展開してきました。開業後のこれからは本番です。北海道新幹線開業効果を一過性のものにせず、青函両地域が持続的に発展していけるよう“産学官金”の連携をより強固に取り組んでまいります。



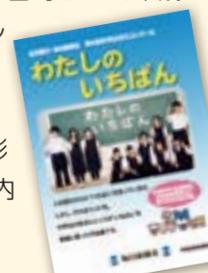
教育文化の向上のために取り組んでいることは？

主催／毎日新聞社 協賛／北洋銀行

第43回 中学生作文コンクール

テーマは「わたしのいちばん」

北海道の未来を担う中学生の育成を目的として、平成25年度から中学生作文コンクールに協賛しています。今回のテーマは「わたしのいちばん」で、全道から2万点を超える応募がありました。表彰式は当行本支店を主会場として、道内の5地区で開催しました。



北洋大通センターでの表彰式

入賞作品集「わたしのいちばん」表彰式終了後、入賞作品や表彰式風景をとりまとめた作品集を発行しています。

北洋銀行 presents

札幌交響楽団によるクラシックコンサート

今年も大盛況！

北海道の文化がますます盛んになるよう、平成24年から札幌交響楽団によるクラシックコンサートを年に2回開催しています。これまでに、延べ13,800名のお客さまを無料でご招待し、名曲の数々をお楽しみいただきました。地域社会への貢献の1つとして、本格的なクラシック音楽を身近に感じていただき、少しでも地域の芸術文化振興のお役に立てるよう積極的に取り組んでいます。



札幌コンサートホールKitaraでのクラシックコンサート

道内教育機関との連携

市民医療セミナーの開催

当行は、道民の皆さまがより健康に元気に暮らせる心身づくり、地域医療への貢献、産学が手を組み互いに発展することを目的として道内3つの産学大学と包括連携協定を締結しています。平成28年4月19日には、新たに北海道医療大学と包括連携協定を締結し、「市民医療セミナー」を開催しています。北海道大学とは「医療健康講座」の名称で、市民向けの講座を行っています。



市民医療セミナー

市民向け医療セミナーの開催

北海道大学

北海道医療大学

北海道大学

北海道医療大学



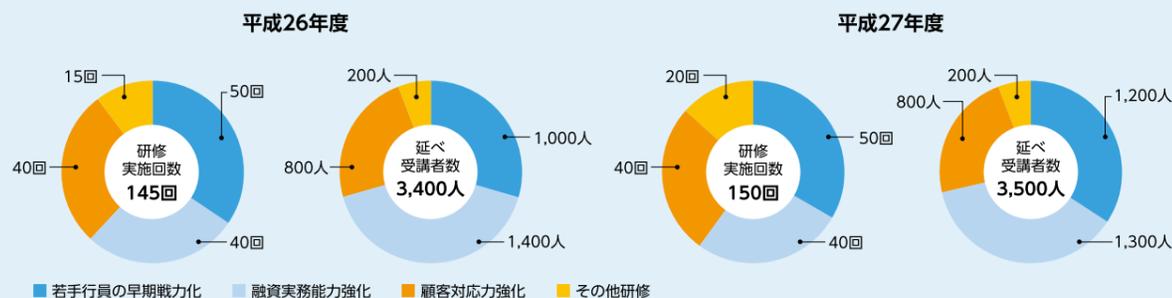


時代を担う従業員の 職場環境は？

人材育成の取り組み

経営理念である「北海道の洋々たる発展の礎となる銀行」の職員としてふさわしい知識水準をもち、お客さまの立場に立った視点で質の高いサービスを提供できる人材を育成するため、職能別、階層別の各種研修を行っています。また、「能力開発チャレンジ制度」を設け、職員が自己啓発に取り組める環境づくりや支援を行い、融資・中小企業診断士養成・外為等の各種トレーニー制度による職員のスキルアップを常に図っています。そして、職員の勤務成績と職務遂行能力等を公正に評価し、適切な指導育成を図る人事考課制度を設けています。

研修実績



ワークライフバランスへの取り組み

仕事と生活の調和

働きがいのある職場づくりのためにワークライフバランスの実現に取り組み、仕事と家庭の両立を積極的に支援する制度を導入しています。1週間の連続休暇や勤続年数に応じたリフレッシュ休暇による有給休暇の取得を促すほか、毎週水曜日の定時退行日や年2回の定時退行週間を実施しています。

このような積極的な取り組みにより、平成26年10月に仕事と家庭の両立支援に積極的な取り組みを行い効果が出ている企業を表彰する厚生労働省の「平成26年度均等・両立推進企業ファミリー・フレンドリー企業部門」で「北海道労働局長優良賞」を受賞しました。



企業内託児所「ほくーとなかまたち」

企業内託児所	平成18年4月開設、職員・パートタイマーが利用
育児休業	子が1歳6ヶ月に達するまで
育児休暇制度	配偶者の産後8週間以内に10日間取得可能
育児短時間勤務制度	小学校6年生までの子を養育する職員、6時間勤務と7時間勤務の選択制
時間外労働の免除	小学校6年生までの子を養育する職員
半日有給休暇制度	有給休暇を半日単位で取得できる
介護休業	要介護状態にある家族の介護を行っている職員
育児・介護リキャリアプラン	育児・介護の負担に応じ、一時的に役職を下げ業務を軽減
コース別人事	ライフイベントに応じて勤務地を限定できるコースを設置
コース転換制度	ライフイベントに応じてコースの往来が可能
勤務地変更制度	配偶者の転勤・親の介護先への希望異動が可能
退職行員再雇用制度	子育て等が落ち着いた元行員を再雇用する制度



女性が能力を活かせる 職場になっているか？

女性活躍支援室の設置

職員全体の約4割を占める女性職員の一層の活躍を支援するため、女性活躍支援室を人事部内に設置しています。ここでは、女性職員のキャリア・アップやライフ・プランについての相談や育児休業中の職員の職場復帰の支援を行っています。また、「子育て」や「介護」についての相談・アドバイスを全店の職員で情報交換できるコミュニティの場を提供する等、職場も協力できる組織、風土づくりを目指しています。



育児休業者意見交換会

「えるぼし」の認定

当行は、平成28年4月に道内企業で初めて「女性活躍推進法」に基づく認定マーク（愛称:えるぼし）の最高評価である「3段階目」を取得しました。女性の活躍推進に関する取り組み状況が優良な企業として、厚生労働大臣の認定を受けています。当行は引き続き、女性がより活躍できる環境の整備に努めてまいります。



認定マーク「えるぼし」(3段階目)

女性管理職登用の促進

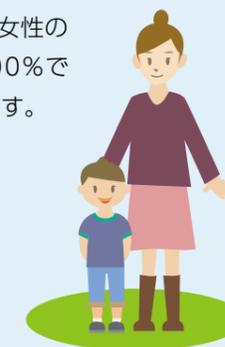
銀行全体の活力増加につなげるため、女性行員の活躍を積極的に推進しています。キャリアアップ支援として、女性の融資・渉外担当者の養成研修やキャリア意識向上を目指した女性向け研修も行っています。当行の中期経営計画でも人材育成として「活躍の場の拡大」を掲げており、今後も女性管理職の登用促進を更に進めていきます。

キャリアアップ支援



高い女性の育児休業取得率

女性の活躍推進では辞めずに長く働くことが大前提となります。出産・子育ての壁を乗り越えるための様々な制度やサポートがあります。また、パートタイマーを含めた女性の「育児休業取得率」はほぼ100%で取得しやすい環境となっています。



担当からの一言



担当部長
藤原

当初の女性副支店長になった頃から、名刺交換する度に名刺の肩書きに驚かれます。そんな時は「私の会社はチャレンジャーなのです」と答えます。今では多くの後輩たちが副支店長、出張所長、支店長として活躍されており大変嬉しく思います。先輩の使命は後輩のために道をつくることと考えています。私がつくった小さな道を大きな道にするために、後に続く方々が、どんどん切り開いていって欲しいと思います。

CSRの歩み



- 昭和59年(1984) 「インフォメーションバザール」開始
- 平成元年(1989) 「北洋銀行ドリーム基金」設立
- 平成2年(1990) 「北海道骨髄バンク事務局」を行内に設置
- 平成16年(2004) 「環境・地域貢献委員会」設置
「環境・地域貢献委員会方針」制定
- 平成17年(2005) 上海事務所設置
大連事務所設置
- 平成18年(2006) 企業内託児所「ほっくーとなかまたち」開設
- 平成19年(2007) 「ものづくりテクノフェア」開始
次世代認定マーク「くるみん」取得
- 平成20年(2008) 「札幌北洋グループ環境方針」制定
「札幌エコ・メンバー(ランク3)」認定
- 平成21年(2009) CS向上のための「Changing!運動」開始
「女性活躍支援室」設置
「北海道グリーン・ビズ(ランク3)」認定
- 平成22年(2010) 「北洋エコボンド」取り扱い開始
「ほっくーの森」開始
専担部署「医療・福祉支援室」を設置
「ほっくー基金」設立
「ほっくー定期預金」取り扱い開始
- 平成23年(2011) 道内3医育大学との包括連携協定締結
「市民医療セミナー」開始
- 平成24年(2012) 専担部署「CSR推進室」を設置
「北洋銀行presentsクラシックコンサート」開始
- 平成25年(2013) 「中学生作文コンクール」開始
「環境・地域貢献委員会」を「CSR委員会」に改称
- 平成26年(2014) CSRに関連した方針を一本化し、「CSR基本方針」制定
「飛翔NEO」取り扱い開始
全行一斉ごみ拾い活動を実施
バンコク駐在員事務所設置
- 平成27年(2015) 「サービス・ケア・アテンダント」の支店配置を開始
「第6回さっぽろ環境賞(生物多様性保全部門)」優秀賞受賞
「地方創生推進室」設置
- 平成28年(2016) 「札幌商工会議所CSR経営表彰(環境貢献部門)」受賞
「北洋スポーツ応援事業」を開始
「えるぼし」(3段階目)を取得
「北海道家庭教育サポート企業等制度」に参画

CSR基本方針

札幌北洋グループの「経営理念」に基づき、当グループを支えていただいている全てのステークホルダーの持続的発展に資する行動を全行で実践し、金融商品・サービス・情報等の提供、支援活動に努めます。



3つの大切なこと

CSRにおける重点取組テーマ

地域金融機関に求められる役割・機能等を踏まえ、「社会的課題としての重要度」、「地域の持続的発展における重要度」、「当グループの持続的発展における重要度」の3点から検討し、「環境保全」「医療福祉」「教育文化」の3テーマとしています。



CSR推進体制

当行は会長を委員長とする「CSR委員会」を設置し、銀行全体でのCSR推進方針・推進策等の協議ならびに進捗管理等を行っています。同委員会で協議された事項は、必要に応じて取締役会においても協議し、決定した推進方針・推進策等を全行に展開しています。